

聖霊降臨後第20主日（特定23）（聖書協会共同訳）

わたしたちの避けどころ、力であり、また信仰の源である神よ、どうか主の教会が信仰をもって献げる祈りに耳を傾け、真心をもって願い求めることをかなえてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

旧約聖書 イザヤ書 25章1－9節

25:1 主よ、あなたは私の神。私はあなたを崇め、あなたの名をほめたたえよう。あなたははるか昔の驚くべき計画を、忠実に、誠実に成し遂げられた。2 あなたは都を瓦礫の山に変え、城壁に囲まれた町を廃虚に変えられた。他国人の城郭は都から取り去られ、とこしえに築き直されることはない。3 それゆえ、強い民はあなたを敬い、横暴な国々の町もあなたを畏れる。4 まさに、あなたは弱い者の砦、苦難の中にある貧しい者の砦、豪雨を避ける逃れ場、暑さを避ける日陰となられる。横暴な者たちの勢いは壁を叩く豪雨、5 乾いた土地の暑さのようだ。あなたは、雲の影が暑さを和らげるように、他国人の騒ぎを鎮め、横暴な者たちの歌声は弱められる。

6 万軍の主はこの山で、すべての民のために祝宴を催される。それは脂の乗った肉の祝宴、熟成したぶどう酒の祝宴。髓の多い脂身と、よく濾されて熟成したぶどう酒。7 主はこの山で、すべての民の顔を覆うベールと、すべての国民にかぶせられている覆いを破り、8 死を永遠にのみ込んでくださる。主なる神はすべての顔から涙を拭い、その民の恥をすべての地から消し去ってくださる。確かに、主は語られた。9 その日には、人は言う。見よ、この方こそ私たちの神。私たちはこの方を待ち望んでいた。この方は私たちを救ってくださる。この方こそ私たちが待ち望んでいた主。その救いに喜び躍ろう。

詩 編 第23編

- 1 主はわたしの牧者 // わたしは乏しいことがない
- 2 神はわたしを緑の牧場に伏させ // 憩いの水辺に伴われる
- 3 神はわたしの魂を生き返らせ // み名のゆえにわたしを正しい道に導かれる
- 4 たとえ死の陰の谷を歩んでも、わたしは災いを恐れない // あなたがわたしとともに
おられ、あなたの鞭と杖はわたしを導く
- 5 あなたは敵のしている前でわたしのために食卓を整え // わたしの頭に油を注ぎ、わたしの杯を満たされる
- 6 神の恵みと慈しみは、生きている限り、わたしに伴い // わたしは永遠に主の家に住む

使徒書 フィリピの信徒への手紙4章4-13節

4:4 主にあっていつも喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。5 あなたがたの寛容な心をすべての人に知らせなさい。主は近いのです。6 何事も思い煩ってはなりません。どんな場合にも、感謝を込めて祈りと願いを献げ、求めているものを神に打ち明けなさい。7 そうすれば、あらゆる人知を超えた神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスにあって守るでしょう。8 なお、きょうだいたち、すべて真実なこと、すべて尊いこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて評判のよいことを、また、徳や称賛に値することがあれば、それを心に留めなさい。9 私から学んだこと、受けたこと、聞いたこと、見たことを実行しなさい。そうすれば、平和の神があなたがたと共におられます。

10 さて、あなたがたが私への心遣いを、ついにまた表してくれたことを、私は主にあって非常に喜びました。今までは思いはあっても、それを表す機会がなかったのでしょうか。11 物欲しさにこう言うものではありません。私は、自分の置かれた境遇に満足することを学びました。12 貧しく暮らすすべも、豊かに暮らすすべも知っています。満腹することにも、飢えることにも、有り余ることにも、乏しいことにも、ありとあらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。13 私を強めてくださる方のお陰で、私にはすべてが可能です。

福音書 マタイによる福音書22章1-14節

22:1 イエスは、また、たとえを用いて語られた。2 「天の国は、ある王が王子のために婚礼の祝宴を催したのに似ている。3 王は家来たちを送り、祝宴に招いておいた人々を呼ばせたが、来ようとしなかった。4 そこでまた、次のように言って、別の家来たちを使いに出した。『招いておいた人々にこう言いなさい。「食事の用意が整いました。牛や肥えた家畜を屠って、すっかり用意ができています。さあ、祝宴にお出でください。」』5 しかし、人々はそれを無視し、一人は畑に、一人は商売に出かけ、6 また、他の人々は王の家来たちを捕まえて侮辱を加えた上、殺してしまった。7 王は怒り、軍隊を送って、この人殺しどもを滅ぼし、その町を焼き払った。8 そして、家来たちに言った。『祝宴の用意はできているが、招いておいた人々は、ふさわしくなかった。9 だから、四つ辻に出て行って、見かけた者は誰でも祝宴に招きなさい。』10 それで、家来たちは通りに出て行き、見かけた人は善人も悪人も皆集めて来たので、祝宴は客でいっぱいになった。11 王が入って来て客を見回すと、そこに礼服を着ていない者が一人いた。12 王は、『友よ、どうして礼服を着ないでここに入って来たのか』と言った。この者が黙っていると、13 王は召し使いたちに言った。『この男の手足を縛って、外の暗闇に放り出せ。そこで泣きわめき、歯ざしりするであろう。』14 招かれる人は多いが、選ばれる人は少ない。」